

ジャン=ポール=ベルモンドの

街を襲われた恐怖

■カラー作品■

全世界のド胆を抜いた
史上空前のスーパードラゴン!

パリ中を恐怖のどん底に叩きこんだ
美女連続殺人を追って
鬼警部ベルモンドの怒りが走る!



ジャン=ポール=ベルモンド ■ シャルル=デネール ■ アダルベルト=マリア=メルリ
ロジ=バルテ ■ レア=マッサリ

製作・監督・脚本 / アンリ=ベルヌイユ ■ 音楽 エニオ=モリコーネ

コロムビア映画



PEUR
SUR
LA
VILLE

面白さ最高のアクション映画！これこそ傑作中の傑作！

フランスでは、アラン・ドロンをしのぐ人気No.1のジャン＝ポール・ベルモンドが、初めての刑事ものにとりくみ犯人を追ってパリ中大追跡するという最高に面白いスーパー・アクションの登場である。

パリの高層アパートに住む若い女性のところに、男の声で電話がかかってくる。誰とも分らないその男は、彼女の過去を知っているが、声には全く覚えがない。切っても切ってもベルになる…。やがて、受話器をおいた彼女の部屋に近づく不気味な足音。足音がドアの前で立ちどまった時、——数十秒後、彼女は窓からはるか地上へまっさかさま！

のっけからフランス映画らしいタッチにあふれたミステリー仕立てのこの映画、姿なき犯人を追ってベルモンド警部の大追跡が始まるにおよんで次第にハード・アクションの様相をおびてゆく。連続女性殺人事件を軸に郵便強盗事件、

麻薬事件、サブウェイ・ジャック、人質監禁、爆破事件など、事件が続発しクライマックスへと盛りあげてゆく。

その犯人を追うベルモンド警部の執拗な追っかけの迫力は、これまでに見られなかったもの凄さ。スタントマンを使わない数少ないスターの中でも、スチーブ・マックイーンとならぶ大スター、ベルモンドが見せる、手に汗にぎるアクションはまさに空前絶後の大迫力。

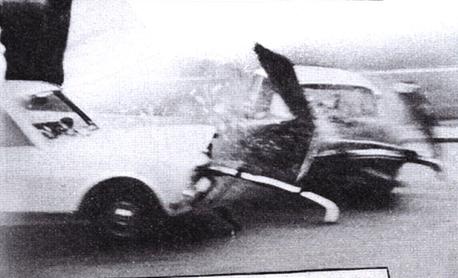
この映画は、いわば「ブリット」「ダーティハリー」と「フレンチ・コネクション」「サブウェイ・パニック」の見どころを全部集めてひとつにしたようなハード・アクションの超大作となっている。

監督は「華麗なる大泥棒」や「エスピオナージ」でおなじみのアクション派のベテラン、アンリ・ベルヌイユ。音楽がまた「荒野の用心棒」や「夕陽のガンマン」のヒット・メーカー、エンニオ・モリコーネで、抜群のムードを高めている。

ジャン＝ポール・ベルモンドの

恐怖に 襲われた街

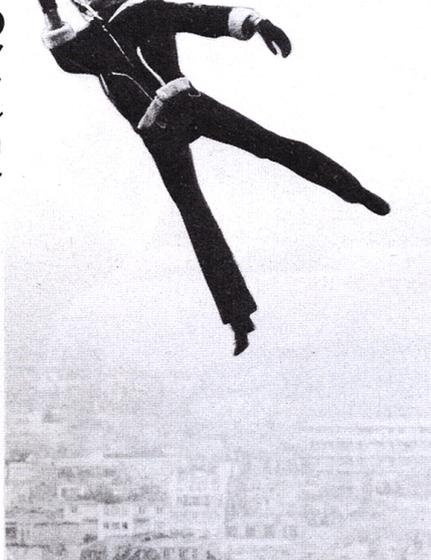
＜カラー作品＞
コロムビア映画



PEUR SUR LA VILLE

● **アクション！**
地下鉄にのりこんだ犯人を追って、間髪走り出した電車にしがみつき、ノンストップを指示。そのままよじのぼり、猛スピードで走る地下鉄の屋根にしがみついて、犯人のいる車輛に近づくという荒業が続出！

● **サスペンス！**
高層アパートの一室に犯人が逃げこみ、人質を監禁、さらに時限爆弾を設置。それを知ったベルモンドは、空からヘリコプターでビルに接近、ワイヤーで体を吊るし窓を破って室内に侵入するという離れ業を敢行。
一刻一刻、爆破時刻は迫る！犯人は？人質は？代役なしのベルモンドの超アクションとサスペンスのクライマックス！



● **スピード！**
車で犯人を追跡中、敵の銃弾で運転していた警官が射たれる。とっさに片手でハンドルをとり、死んだ部下の足の上からアクセルペダルを踏み、フルスピードで走りながらピストルを発売しつつ、なおも犯人を追う！

● **スリル！**
パリ市街を見おろす住宅街。逃げ場を失って屋根へ逃げた犯人を追いつめて、ベルモンドも屋根から屋根へ。目もくらむ高さの、一歩間違えば即死しかねない所を自由自在に走りまわるとスリル。アワヤ、墜落というシーンも何度か出現。高所恐怖症の人には正視できないハラハラ連続シーンだ！

もの凄い迫力！ベルモンドが見せる、吹きかえなしの超スタント・シーン！

7月19日(土)ヨリロードショー 池袋劇場 (971) 8361

● 特別鑑賞券 ¥800 (一般 ¥1,000・学生 ¥900のところ) 劇場窓口にて発売中！